

Schedule

海渡りの日

令和4年9月23日(祝) 10:30 ~ 17:00

《海渡り》作品公開

令和4年9月24日(土) ~ 10月15日(土)

糸あげの日

令和4年10月16日(日) 15:00 ~ 17:00

弁天様のお祭り

*旧暦9月26日

令和4年10月21日(金) 11:00 ~ 13:00

五十嵐靖晃 海渡り

 つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

IGARASHI Yasuaki “Umizwatari”

2018年、熊本県津奈木町の地域資源をアートにより再評価し、活性化につなげるアートプロジェクト「つなぎまちのつなぎかた」がアーティストの五十嵐靖晃により始まりました。3年に及ぶリサーチと対話により生み出された《海渡り》は、古くから旧暦9月26日に行われてきた「弁天様のお祭り」を、町内外の人々と共にアートの力によって再構築し、後世に受け継いでゆくことを目指して毎年行われる、新しいかたちのアート作品です。

令和4年《海渡り》スケジュール

1. 海渡りの日

9月23日(祝) 10:30～17:00 参加自由

… 参加者全員で赤い糸を持って海を渡り、島と陸をつなぎます。(13:38干潮)
完成後は競舟の乗船体験を行う予定です。

2. 《海渡り》作品公開

9月24日(土)～10月15日(土) 無料公開

… 島と陸をつなぐ100本の赤い糸が空に浮かぶ作品《海渡り》を展示します。

3. 組紐ワークショップ ※関係者のみ

10月7日(金) 10:00～14:00

… 津奈木小学校の3年生に組紐を体験してもらうワークショップを行います。

4. 糸あげの日

10月16日(日) 15:00～17:00 参加自由

… 参加者全員で赤い糸を引き上げ、鳥居を元に戻します。(18:08干潮)

5. 弁天様のお祭り*旧暦9月26日

10月21日(金) 11:00～13:00 参加自由

… 島の祠の弁天様に、津奈木の町の無事を祈ります。(12:08干潮)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等のため内容を変更する場合があります。※荒天時は中止します。

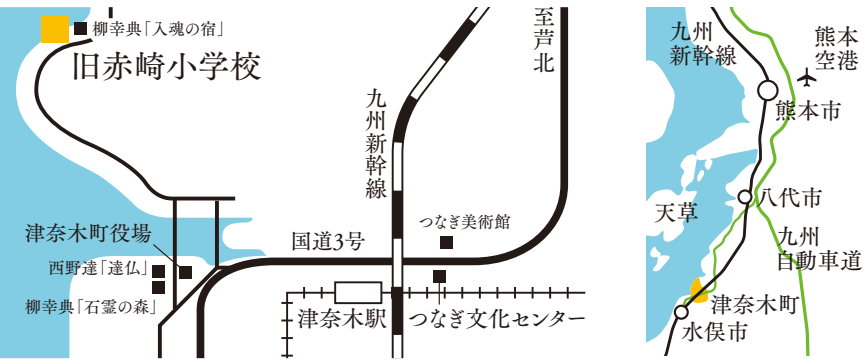
会場:旧赤崎小学校付近

(熊本県葦北郡津奈木町福浜165番地)

主催:津奈木町、つなぎ美術館／協力:津奈木海龍
企画・構成:楠本智郎、濱田真大／映像:仲信達也
広報物編集・デザイン:三迫太郎

【つなぎ美術館】〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494

TEL 0966-61-2222 FAX 0966-61-2223 tsunagi-art.jp



◎昨年度の《海渡り》の様子: 1.参加者たちが陸から島に糸を運ぶ／2.号令をかける五十嵐靖晃／3.力強く糸を引く海龍メンバー／4.かつて弁天島にあった鳥居が復活し、清祓式を行った／5.弁天様のお祭りを一人で続けてきた松田テル子さん(左)／6.完成した作品は18日間公開された

新立..そうですね。なんていったって人だと思っんですよ。熱い気持ちを持って人たちが集まってくる場所だから、それをみんなで楽しく安全に体験できたから、素晴らしいものができるんじゃないかなってやっぱり思っちゃいますね。
五十嵐..そうだ、良いこと言うよ。そうだよ、ね。熱い気持ちを持つてる人が心を動かされて寄ってくるんだらうね。だから、競舟に乗った時に僕も火をつけられちゃった、ついちゃうよね、やっぱり、火が。そういう力がもう「お祭り」だよ、ね。

自分が楽しんでる姿を

新立..自分が楽しんでる姿を見せてると、若い子たちも真似してくれるっていうのが分かってるから、楽しむことってすごく大事だなんて思いますね。
五十嵐..《海渡り》の実験で糸を張った後に、誠くんが「本番はもつときれいに張りたいって言ったでしょ。
新立..はいはいはい。
五十嵐..あれも今の話にも通ずるなと思って。自分が楽しんでるっていうか、自分が関わることでもつといい風景を一緒に作りたいたいという言葉が自然に出てた。あの時、「あ、これは成功したな」と思っった。
新立..そうですね、やるからにはやっぱり全力で楽しみたいし、みんなに「やって良かったね」って思わせられたらすごく

新立..はいはい。じいちゃんたちですね。
五十嵐..上半身裸で、筋骨隆々の男衆がずらっと舟の上に並んでる写真があって、それがめちゃくちゃ格好良くって、左から何番目がうちのじいちゃんです。みたいいな話を誠くんがして、そのときに聞いた「子どもたちと海との距離が少し遠くなったるように感じる」って話もすごい印象に残って。
競舟をきっかけにもう一度、子どもたちと触れ合い、海と触れ合えるような機会を一緒につくっていったらいいかなって

新立..そうですね、人がいっぱい来てくださったから、来てくれたみんなに競舟を漕いでみてもらいたかったなっていう気持ちもありました。今年はみんなに体験して欲しいなって思っています。
五十嵐..この前、競舟に乗せてもらって、座った時に海面の近さと...もう海に座ってんだよね、あれ。そこから見る津奈木っていうのが、また何とも言えない風景だね。舟が持つすごく特殊な効果だと思っんだけど、視点とか身体感覚が切り替わるんだよね。あれは《海渡り》で伝えていきたいことと重なる部分が多くて。
「漕ぐ」って、みんなで二つのイメージに向かって突き進んでいくというか、呼吸

新立..そうですね、普段とは違う視点で海に関われることにすごく新鮮味があっ、心を打たれました。とにかくありがたかったっていうのがすごく強いですね。
楽しみにしてた当日も、人がいっぱい来てくださったから、来てくれたみんなに競舟を漕いでみてもらいたかったなっていう気持ちもありました。今年はみんなに体験して欲しいなって思っています。
五十嵐..この前、競舟に乗せてもらって、座った時に海面の近さと...もう海に座ってんだよね、あれ。そこから見る津奈木っていうのが、また何とも言えない風景だね。舟が持つすごく特殊な効果だと思っんだけど、視点とか身体感覚が切り替わるんだよね。あれは《海渡り》で伝えていきたいことと重なる部分が多くて。
「漕ぐ」って、みんなで二つのイメージに向かって突き進んでいくというか、呼吸

津奈木の競舟が持つ力

五十嵐..誠くんが《海渡り》に去年参加してみた感想は？
新立..そうですね、普段とは違う視点で海に関われることにすごく新鮮味があっ、心を打たれました。とにかくありがたかったっていうのがすごく強いですね。

新立..そうですね、人がいっぱい来てくださったから、来てくれたみんなに競舟を漕いでみてもらいたかったなっていう気持ちもありました。今年はみんなに体験して欲しいなって思っています。
五十嵐..この前、競舟に乗せてもらって、座った時に海面の近さと...もう海に座ってんだよね、あれ。そこから見る津奈木っていうのが、また何とも言えない風景だね。舟が持つすごく特殊な効果だと思っんだけど、視点とか身体感覚が切り替わるんだよね。あれは《海渡り》で伝えていきたいことと重なる部分が多くて。
「漕ぐ」って、みんなで二つのイメージに向かって突き進んでいくというか、呼吸

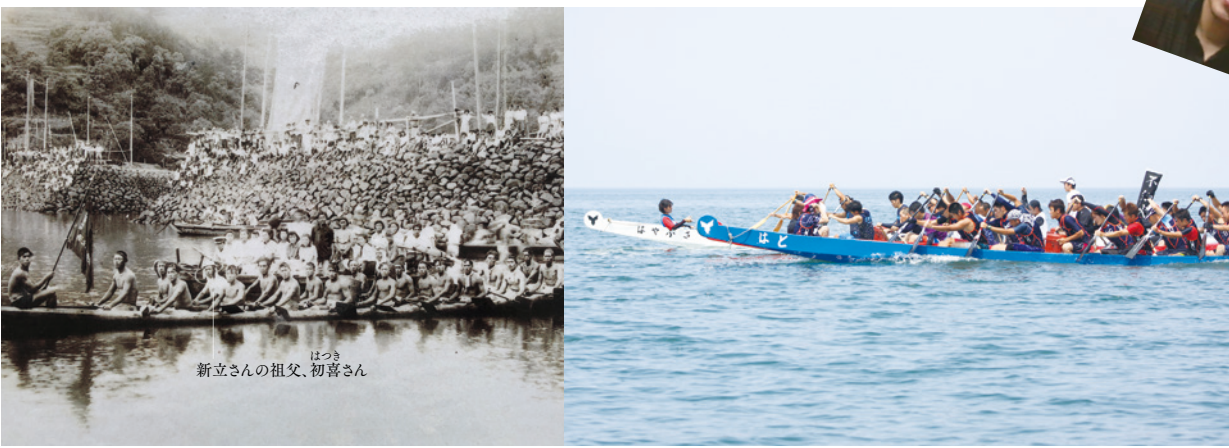
とかリズムを合わせて溶け合っ、エネルギーの塊になってくような感覚。その後に聞こえてくる風の音とか、虫とか、鳥の声まで変わってしまう感覚っていうのは子どもたちもきっと体験したほうがいいだろうなって。
競舟は間違いなく津奈木の文化の柱だと思っから、地元の人を中心に多くのの人に知ってもらえる感じで体感してもらええる舞台として機能させたいと思っ。でも、やっぱり人だよな、人。

五十嵐靖晃

いがらし やすあき / アーティスト

1978年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通して、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは「自然と人間の関わり術」であると考え。2005年にヨットで日本からクロネシアまで約4000kmを航海した経験から“海からの視座”を活動の根底とする。代表的なプロジェクトは、樟の杜を舞台に千年続くアートプロジェクトを目指す福岡県太宰府天満宮での《くすき》(2010～)、漁師らと共に漁網を空に向かって編み上げ土地の風景をつかまえる《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭2013・2016・2019)、南極にて子午線を糸に見立て世界各地の人と組んだ紐で共に風を揚げる《時を束ねる》(南極にエンナーレ2017)など。
http://igayasu.com

海に座る。



*大泊、日添、日当の3地区で競舟大会をしていた頃の写真(昭和22年頃) 江戸時代末期から続く競舟大会。2017年から台風、新型コロナウイルスなどにより休止中。